

世界の海を拓く日本の海事産業イノベーション

海上技術安全研究所 第13回講演会プログラム 協賛：一般財団法人日本船舶技術研究協会

平成 25 年 11 月 15 日 (金)

第一部 講演会 13:30 ~ 17:00 海運クラブ 2F ホール (受付は 12:45 ~)

開会挨拶

海上技術安全研究所 理事長 茂里一統

日本の海事産業イノベーション

海上技術安全研究所 企画部長 今出秀則



一昨年7月に国土交通省が「新造船政策」を発表しました。この検討に参加した方々の一致した結論は、日本の海事産業はイノベーションを起こし得る産業たるべしというものです。あれから2年、海事産業イノベーションの現状と今後の方向性について、技術、ビジネス、政策の3つの視点から、当研究所の今出企画部長が分析します。

J-DeEP の野望

J-DeEP 技術研究組合 理事長 珠久正憲



ブラジル沖の大規模海底油田開発のため、世界初の洋上中継基地「ロジスティック・ハブ」が計画され、日本の企業連合が技術研究組合「J-DeEP」を作って受注を目指しています。本講演では、J-DeEPの珠久理事長が、このプロジェクトの全貌と、J-DeEPの活動が日本の海洋産業発展に与える影響を解説します。

これからの船用パワープラント

海上技術安全研究所 理事 千田哲也

(日本マリンエンジニアリング学会会長)



燃料油価格の高騰、天然ガス価格の下落、排ガス規制やCO₂対策などの環境規制の強化といった経済・社会的影響により、船舶輸送システムが大きく変わろうとしています。日本マリンエンジニアリング学会の会長でもある千田理事が、内外の研究開発動向を踏まえて、今後の船用パワープラントのあるべき姿を大胆に予想します。

中堅造船所の挑戦：MIJAC

(株)マリタイムイノベーションジャパン 社長 信原真人



マリタイムイノベーションジャパン (MIJAC) は、日本の造船、海運、海洋関連の技術を向上させ、世界に発信することを目的に設立されました。出資したのは大島造船所、新来島どつく、常石造船、サノヤス造船、日本郵船、日本海事協会、日本政策投資銀行。日本の海事産業だからできたこの極めてユニークな取り組みについて、信原社長が意気込みを語ります。

閉会挨拶

海上技術安全研究所 理事 瀬部充一

第二部 懇親会 17:00 ~ 18:30 海運クラブ 3F (303・304)

懇親会が開催されますので、皆さん奮ってご参加ください。

参加お申込み方法

- 方法1：海上技術安全研究所ホームページ (<http://www.nmri.go.jp/>) のトップページより「イベント・広報」で「講演会」をクリックしていただき、案内状の下にある「申込みフォーム」に「貴社名、住所、連絡先、部署、役職、参加者氏名」を明記してお申し込みください。
- 方法2：E-mail(info2@nmri.go.jp) または FAX(0422-41-3258) にて「貴社名、住所、連絡先、部署、役職、参加者氏名」を明記して、企画部広報係までお送りください。

